

## 補足作業シート記入フロー

### ①、②、③、④、⑤欄

法人として設置している学校ごとに1行ずつ、①都道府県名②設置者名③設置者類型④学校名⑤設置課程を記入

(以下、学校毎(行毎)に作業)

### ⑥欄

学校内の施設全て(学生・生徒等が日常的に利用しない施設や職員宿舎を除く)が、新築、改築後間もない場合は「点検実施」を記入する。

「点検実施」と記入していない場合

「点検実施」と記入した場合

⑦欄以降の記入は不要

### ⑥欄

過去3年以内に、学校内の施設について、1棟でも建築基準法点検等を実施している場合は「点検実施」を、建築基準法点検等を実施した施設がない場合は「点検未実施」を記入する。

(点検実施となる場合)

- ・建築基準法の義務づけの有無に関わらず建築基準法点検を実施している場合
- ・「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック(改訂版)」(平成27年3月文部科学省。以下「ガイドブック」という。)第5章に示す点検チェックリスト(学校設置者編)(以下「点検チェックリスト」という。)に基づく点検を実施している場合

「点検実施」と記入した場合

「点検未実施」と記入した場合

⑦欄以降の記入は不要

### ⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭欄

※手元に建築基準法点検の結果表又は点検チェックリストを準備する。

以下の場合には各欄に○を記入する。(建築基準法点検項目については参考資料を参照。)

⑧欄：建築基準法点検項目3(2)～(4),(7)で要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われていない場合

⑨欄：・建築基準法点検項目2(6)～(18)で要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われていない場合

- ・点検チェックリスト点検項目Ⅲ又はⅣ(1)～(7)(ガイドブックP38,39)で設置者又は専門家により是正が必要である旨の評価がなされ、点検基準日時点で是正が行われていない場合

⑩欄：・建築基準法点検項目4(24),(25),(34)において要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われていない場合

- ・点検チェックリスト点検項目Ⅰ(1)～(7)又はⅡ(1)～(3)(ガイドブックP37,38)において設置者又は専門家により是正が必要である旨の評価がなされ、点検基準日時点で是正が行われていない場合

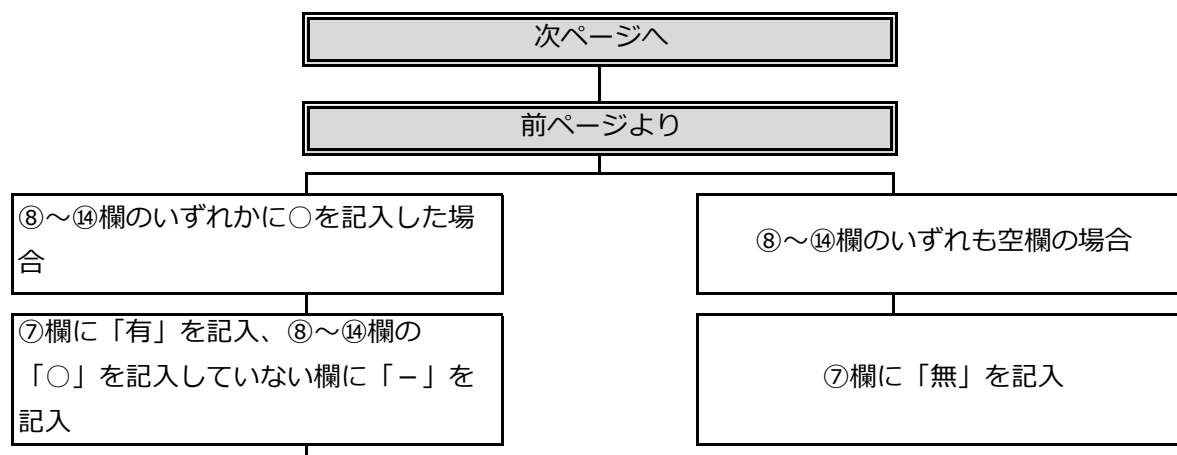
⑪欄：・建築基準法点検項目4(6)～(10),(12)において要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われていない場合

- ・点検チェックリスト点検項目Ⅴ(1)～(5)(ガイドブックP39)において設置者又は専門家により是正が必要である旨の評価がなされ、点検基準日時点で是正が行われていない場合

⑫欄：・建築基準法点検項目1(8)において要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われていない場合

⑬欄：・建築基準法点検項目5(8),(15),(25)において要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われていない場合

⑭欄：・建築基準法点検項目6(5)～(9)において要是正と判断され、点検基準日時点で是正が行われていない場合



⑮欄：平成30年度に契約を予定していた又は31年度に契約予定としている非構造部材の対策事業のうち、⑧～⑭に○を付した劣化等に対する安全対策のための事業があれば、その事業数及び補助対象事業経費の計を記入。  
（⑧～⑭に○を付した劣化等に対する安全対策のための事業でない場合は、非構造部材対策事業であっても本表には計上しないこと。）（学校法人が設置する専修学校（一般課程のみを設置する学校を除く）のみ回答）

**提出前にエラーチェック欄（エクセルP列、AB列）に表示が出ていないことを確認の上、提出すること。**